

自治ひょうご

1662号

2024. 11. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

当面の日程

- 6日 秋季闘争勝利！青年女性決起集会
(長田区文化センター)
- 6日 2024確定闘争勝利！県本部決起集会
(ピフレホール)

発行 全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp



県本部定期大会

組織強化、拡大で二歩前に

当面する各課題のさらなる前進をめざす

県本部は10月12日に神戸国際展示場で第75回定期大会を開催した。大会へは113人の代議員が出席し、報告で2人、議案で9人の代議員が発言した。2025年度運動方針や11月の確定闘争に向けた当面の闘争方針など、全ての議案は満場一致で可決された。

大会議長には山本真治代議員(たつの市労連)、藤原敏也代議員(豊岡市職労)が選出され議事を進めた。山下忠之委員長が主催者を代表してあいさつを行ったあと、自治労本部の榎本



2025年度の方針を確認し意思統一した

経過報告に関しては、国民皆保険を取り巻く状況、三田市議選の取り組みなど2人から発言があった。

また方針では、県知事問題への対応、単組の組織強化の取り組みや課題、会計年度任用職員の処遇改善、格差是正、人員不足に対する取り組み、確定闘争に向けた要請など11人が発言した。

全ての議案が可決されたのちに、自治労第98回定期大会(千葉)で自治労表彰を受けた単組役員、書記11

人が紹介され、代表して橋崎潔代議員(三田市職労)が感謝状を受け取った。

また、これからの重要な課題の1つとなる各種選挙闘争に向け「働く者を軸とす

岸参議院議員よりあいさつ 正常化した政治をめざす

自治労組織内参議院議員の岸まさこです。

ノーベル平和賞を日本原水爆被害者団体協議会が受賞したニュースが流れた。これまで被爆者のご本人たちが本場に長い間活動してきたことの成果であるし、このノーベル平和賞受賞を

私からは3点の課題にふれてあいさつしたい。

1点目は政治闘争について、9月の三田市議選では橋本いぶんさんが、当選を果たした。自治体のあり方や労働条件が議会で決まる以上、推薦議員と政策実現に向けた認識を共有し、12月議会に向けた意見交換と



山下委員長あいさつ要旨 単組の課題を共有し 組織拡大に全力を

2点目は直面する現業公企闘争と確定闘争だ。現業公企第2次闘争では、市民サービスを維持するため新規採用と安心して働ける職場環境作りに全力をあげな

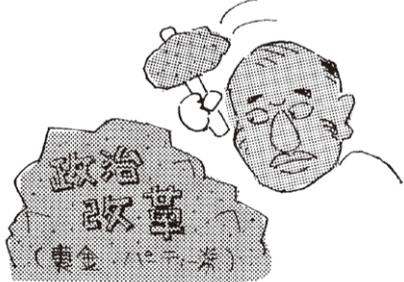
3点目は組織強化を通して組織拡大であり、単組として県本部の将来にかかる重要課題である。単組の人材育成と県本部の将来的な人材育成は一体であり、県本部の専従役員選出も単組の組織強化なくして成り立

たない。単組の課題に対する取り組みを起点に、組織強化拡大のプラスのスパイラルへの転換が必要。誰もが健康で働ける職場を作るためにも、職場の課題をみんなで考え、みんなで分担して運動に取り組み、組合員に見える活動を広げることが、一歩前へ進む取り組みとなる。新規採用者の組織化、定年延長者や再任用職員や会計年度任用職員の組織化を、全ての単組の課題として共有し、組織拡大に全力をあげよう。

最後に、引き続き頑張ることをお誓い申し上げ、あいさつとさせていただきます。

いまいち座

石を破碎できるか?



大西英剛

いくには今回がチャンスだ。そういう意味でこの衆議院総選挙に向けて、自治労が応援する候補に対して、皆様のお力をお貸しください。そしてその後の兵庫県知事選挙に向けて、稲村和美さんにもつなげていただきたい。

しこう

ドジャースの大谷翔平選手は試合後のインタビューで必ず「明日の試合に備え、良い準備をした」という言葉だ。彼の良い準備の中の1つが睡眠である。1日に10時間は最低でも寝るとい。彼の睡眠は、質より量であるとのこと。実際、ワールドシリーズ第1戦が劇的なサヨナラゲームで勝利の後、彼は試合後30分以内に帰宅した。早くも明日の準備のことしか頭にはなかったのだと推測する。私が組合の執行委員になった1年目の秋以降、先輩役員からよく言われたのが「会議や集会など、組合の取り組みに参加する際は、常に準備しろ。発言を求められた際に、きっちり答えられるように問題意識をもって参加しないと意味がない」と言われ続けた。昨今は、仕事が多忙で、なかなかそこまで余裕がないことは思うが、皆さんも心掛けてみてはいかがでしょうか。

報告、方針に対し11人が発言

国民皆保険を取り巻く情勢

国保労組 松本代議員



厚生年金・健康保険における被用者保険の適用拡大。医療保険制度の観点からの課題やデメリットが解消されないまま、拙速に議論が進められないか危惧している。「岸まさこ」浸透の取り組みを進めてきた。引き続き国政に声を届けてもらいたい。

新たな決意で組織強化

尼崎 市職労 村上代議員



組織強化のため、新採の組合加入の手法を重点単組会議で知った。この他の単組の取り組みを尼崎でも実施した。一定の成果になりつつある。加入後の脱退はあるが、何もしなければ増えない。各単組の取り組みを受け止め「なんでもやる」との決意で組織強化を進めていく。

まともに協議できる県に

兵庫 県職労 土取代議員



知事に県政混乱の責任を取るよう申し入れた。職員の自死を受け、何ができるのか悩んだが7月の申し入れとなった。前知事は、組合と協議をしたことがない。まともに協議できる県にしていきたい。

組織強化に重点を

宝塚 市職労 江田代議員



先輩が少しづつ勝ち取って積み上げた労働条件も組合が弱くなるとすぐに改悪となる。組織の担い手についても同様のことがいえる。そのため、組織強化が重点となるが、その関係の新年度予算が減っているのはどういふことか。

格差解消をめざし取り組み

西尾代議員



会計年度任用職員に行政職給料表導入の協議をしている。現在は独自の報酬体系を使っており、当局提案は不利益になることから受け入れられない。専門性を重視し、職責にみあった、働き甲斐のある給料表を求めていく。また格差がない職場をめざし取り組み

現場視察で処遇改善に

尼崎 嘱託労組 阪本代議員



児童保育現場の人員不足が慢性化している。当局に現場視察をさせ、人員不足や立地条件で過重労働になっている実態を認めさせたが、処遇改善につなげないという意味がないと強く訴えた。県内でも、現場視察が広がり少しでも処遇改善につなげてもらいたい。

新たな取り組みで前進していく

川西 市職労 白川代議員



川西には2つの組合があり、競合している。執行部は「このままではダメだ」と組織化重点会議やブロック

特交削減廃止に着目

淡路 広域水労 服部代議員



地域手当について、特交削減廃止に着目したい。これまで地域手当は特交の影響が大きかった。今回その最大のハードルがなくなった。県内全ての単組で支給されるよう、県から余計な助言をさせない取り組みをお願いしたい。

評議会選出執行委員の交代

今大会では、公共民間協議会選出の津村崇夫執行委員(みのり労組)と女性部選出の藤原潤子執行委員(明石市職労)が退任し新たに以下の2人を選出した。
【公共民間協議会】(新) 菊田洋介(阪神淡路ブロック・宝塚市社協労組)
【女性部】(新) 澤田典子(播磨ブロック・たつの市労連)

報告・議案に対する執行部答弁

保険制度関係について、本部と連携し、引き続き取り組んでいく。岸まさこさんの周知の取り組みをいただいた。橋本いぶんさんの



松本書記次長

当選報告。これからが本番。今後の活動についてもバックアップしていく。県知事に対する取り組み「最大限の対応をしろ」と



尾西書記長

県職労は申し入れを実施。県本部は県職労に迷惑がからないよう後方支援で取り組んできた。また、この件でアピール行動が出来る



戎副委員長

会計年度任用職員に退職の概念はない。しかし60歳以降の号格格下げとなっており法の趣旨にそぐわない。県からも適正で



古角代議員

組織強化に向けた新組対策について、プラス思考で進めていきたい。新規採用者を、10割に近い加入を続けていけば、そのうち10割になると目標を持ち取り組みを進める。また、今ある組織強化対策で各単組支援や活動の予算を削ってやっ

かったのかとの指摘。先程も述べたが県職労に迷惑がかかるかと、私たちは判断をした。組織強化に向けた新組対策について、プラス思考で進めていきたい。新規採用者を、10割に近い加入を続けていけば、そのうち10割になると目標を持ち取り組みを進める。また、今ある組織強化対策で各単組支援や活動の予算を削ってやっ

ていくというものは一切考えていない。会計年度職員60歳以上で賃金の削減。退職がないので、制度上、整合性がない。要求の中に含みながら、全体に対して周知を図っていききたい。また賃金改善、具体的に賃金表をどう運用するのか、不利益がない移行方法は何なのか。私たちが一緒に検証する。現場の視察も活用しながら要

求を通して取り組みを広げていきたい。確定闘争に向けて「推進のびき」を作成中。確定闘争での結果をお願いする。市町振興課交渉について、地域手当に対する、特別交付税の削減の制裁がなくなった。各市町にその事を助言するよう申し入れをしていきたい。闘争資金を上げて欲しいという意見。上げないため

県本部囲碁・将棋大会
今年も囲碁・将棋大会を開催します。参加を希望される方は、各組合書記局を通じ、11月22日(金)までにお申し込みください。
(10/22付県本部発文009号参照)
開催日 12月7日(土)
(9時受付9:30開会式)
場所 ひょうご共済会館

自賠償共済 組合で手続きができます!

自動車(二輪車を含む)・原付自転車を使用する際に、法律で加入が義務づけられている共済(保険)です。

1年以下の懲役 または 50万円以下の罰金 + 免許停止 違反点数 6点

不明な点があれば、まず組合にご連絡ください。

自賠償共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

全労済自治労共済本部資料より引用

*コンビニ払いを取り扱っていない組合もあります。その場合は、上記②にて掛金を組合窓口へ持参してください。(自賠償共済は組合窓口からのお渡しとなります。)